



# あゆむ会



〒326-0141  
栃木県足利市小俣町3294番地2  
児童養護施設「イースターヴィレッジ」  
「イースターヴィレッジと  
ともに歩む会」

TEL 0284-62-3501  
FAX 0284-62-6610  
info@easter-village.or.jp

## 「待つ」ことで自分らしさを理解していた

集合場所で相手を待つ。この待つ時間の中で自分らしさを深めていました。

60分程度待つことは誰もが平気でした。かつて「待つ」は日常生活にありました。

スマホ利用で「待つ」ことはなくなりました。「待つ」ことは、ストレスでイライラになってしまいました。生活時間の速さに慣れ、心にゆとりが無くなりました。寛容という相手を許す場面も激減しています。

自分らしさや周囲との関係性を待つ時間の中で経験していました。学ぶ言葉と体験が一体になっていました。遅れてきた理由を聞かずに親切な対応したり、丁寧に耳を傾けていました。

紆余曲折を経た人生の慈愛の上に寛容があり、人は「ひと」になっていくものです。支えられ、待ってもらった経験が感情をしっかりと鍛えたのです。目立たないが人の心を支配している感覚を「待つ」という経験から学んでいました。

子どもたちの心は、信頼されていると感じた時に開きます。だから私たちは「待つ」を生かしています。子どもたちに人生は何度でもやり直せるとも伝えています。失敗を受け入れ、うまくいかなくてもやり直せます。失敗したことより、そこからどう立て直していくかに興味があります。だからこそ、「待つ」を継続しています。

たった一つの小さな幸せ信じて、明日を夢見て、今日に希望しようと職員は「待つ」ことを語り合っています。ほんのささやかなことにある日常の幸せに「待つ」がありふれた言葉を与えながら、深い意味を持ち生きていく証しにしてほしいと願っています。

児童養護施設イースターヴィレッジ 施設長 菊地 廣光

歩む会会員の皆様の協力を得て、6月4日（土）午前中（8：30～11：30）に石尊山ハイキングを実施します。皆さまには当日ボランティアとして子どもたちと一緒に登山していただければと願っています。参加希望される方はイースターヴィレッジまで連絡をお願いいたします。



### 《イースターヴィレッジの紹介》

昭和50年（1975年）に虚弱児施設として小俣北町にスタートしました。カトリック司祭フランシスコ・マイエル神父の提唱により、カトリックさいたま教区、宗教法人イエズス会の賛同を得、宗教法人「聖フランシスコ病院修道女会」の運営参加、地元の大川ナミさんや多くの人々の尽力により、建設用地の寄贈や各種公的補助金や寄付金により開設されました。

平成10年（1998年）に児童養護施設になり今年度の定員は37名です。平成16年に小俣上町に「谷の家（男子6名）」、平成26年小俣境町に「丘の家（女子6名）」令和3年4月1日に「円い（まどい）の家」（男女混合6名）を小俣上町に開設しました。

開設以来、施設理念はカトリックの愛の精神で、「愛はすべてにつよし」です。多くの人によるイースターヴィレッジに対するご支援や協力は今も変わらずに続いています。

### 歩む会総会について

会員の皆様には、いつもお世話になりありがとうございます。令和4年度の総会ですが、未だにコロナウイルス感染が収束せず、昨年同様今年も皆様にお会い出来ないのは非常に残念ですが、今年の総会も中止せざるを得ないと判断致しました。御了承いただきたいと思います。

子どもたちも職員の皆様と協力しつつ、一日一日を送っております。我々も密閉・密集・密接を心にとめ、さらに手洗い・マスクを加えて生活していくことが出来ればと思います。

会員の皆様には御体を御自愛戴きこの難局を乗り越えていただければ幸いです。今年も子どもたちのことを考え、歩む会を宜しくお願い致します。イースターヴィレッジとともに歩む会 会長 川田秀幸

※ 年度切り替えのため、振込用紙を同封させていただきました。  
引き続きご支援のほどよろしくお願い致します。



## お別れ遠足



今回のお別れ遠足では、群馬県太田市にある、八王子農園でフレンチのフルコースをいただきました。どの料理も美味しく、感動しました。個人的に、一番最後のデザートとの盛り合わせが印象に残っています。久しぶりにイースターの皆と会って、色々な会話ができただことは、僕にとって大切な思い出です。僕は措置延長生ですが、このような機会をご用意して下さったイースターヴィレッジには、とても感謝しています。職員が子どもたちに優しく接するところを見て、改めて、イースターヴィレッジは暖かい場所なんだなと思いました。

(S・U 専門2年)

今年のお別れ遠足は、食事会で八王子農園に行きました。今年はコロナの影響で全員での旅行が出来ていなかったのが、久々に皆がそろって、一緒に食事が出来てとても嬉しかったです。色々な種類のケーキが食べられて、デザートが美味しかったです。来年もまた、皆でどこかに出かけたいなと思いました。

(S・M 中3年)

お別れ遠足で群馬県太田市にある八王子農園に子ども・職員全体で食事へ出掛けました。

コロナ禍の中、どうしたら子どもの希望を実現出来るか議論を重ね、お店とバスを借り切り、お店側のご協力の下、十分に感染対策を行い開催実現に至りました。久しぶりに全員が集まり、豪華な食事を楽しみながら和やかな時間を過ごすことが出来、子どもたちの良い表情が溢れていました。高校を卒業し新たな門出に立つことを皆でお祝いすることが出来たということは本当に嬉しく、貴重な時間となりました。

(職員 樋桁 歩)



## 卒業を送る会

今年には幼稚園生5名、小学生1名、中学生7名、高校生1名の計14名の卒園・卒業をお祝いしました。来賓の方々を迎えられず、みんなで一緒に祝い膳を囲むことが出来なくなり早数年が経ちましたが、卒業生の子どもたちの写真をスライドショーにしてみんなで楽しむ時間は続けることが出来ています。職員が選ぶ写真も個性にあふれ、その子らしい躍動感ある写真が増えてきました。日々の生活の中のふとした瞬間、発表会などのイベント、成長を感じる時はたくさんありますが、年齢を追って振り返る思い出と共に強く成長を感じる事が出来ます。来年も天真爛漫な写真や動画をみんなで見て祝えるよう、子どもたちと一緒に日々励みたいと思います。

(職員 森野 瑠美)

## 夕食テイクアウト



3月に夕食をデニーズで注文し、子どもたちそれぞれ好きなメニューをテイクアウトしてユニットで食べました。オムライスやポテトに唐揚げ等たくさんのメニューが食卓に並び、デザートにはパフェも食べることができて皆大満足な様子でした。蔓延防止措置も出ており外食が難しい時期に、普段の食事とはまた違った食事を楽しむことができ、子どもたちも職員も嬉しく思いました。

(職員 川上 倫恵子)

コロナウイルスの影響で子どもたちの楽しみにしていた外出はほとんど実施できませんでした。その代わりとしてユニットで子どもたちが好きなピザやお寿司、ケーキを注文しテイクアウトをしてユニットで食べました。思うように外出に行けず残念がる声がたくさんありましたが、テーブルいっぱい置かれた食事を見た子どもたちは目を輝かせて大喜びでした。いつもは小食な子どももこの日だけは口いっぱい頬張り、お腹いっぱい食べていました。少しでも子どもたちの良き思い出として残ってくれたら幸いです。

(職員 河田 奈津美)

## ユニット進級祝い

3月25日に進級祝いとしてユニットで焼肉を行いました。お肉の他にもスープやポテト、ケーキをお腹いっぱい食べ普段とは違った形の夕食を堪能していました。

4月から新しい環境での生活が始まるので様々なことに挑戦し、充実した生活を送って欲しいと思います。

(職員 宮川 奈津樹)



入 園 & 入 学

**幼稚園** ☆ぼくがようちえんにいってがんばりたいことは、きゅうしょくでやさいをたべることです。あと、おともだちとなかよく、いっぱいあそびたいです。(R・K 年少)

☆ひよこぐみになったら、きゅうしょくをおともだちとなかよくたべたいです。いっしょにあそぶのもたのしみです。(M・S 年少)

**小学生** ☆わたしはいちねんせいになったら、ごはんをたべること、おべんきょうをがんばりたいです。がっこうにいて、あたらしいおともだちとあそぶことがすごくたのしみです。(R・T)

☆わたしはいちねんせいになったら、おんがくのおべんきょうと、さんすうのおべんきょうをがんばりたいです。なわとびもたくさんとべるようになりたいです。そとでおともだちといっぴいはったり、あそぶことがとてもたのしみです。(R・S)

**中学生** ☆私は、今年の春に中学校に進学します。中学生になると、部活が始まったり塾に通い始めたりします。中学にあがることで心機一転しますが、いまだに感染拡大しているコロナウイルスの影響でなかなか思い通りにいかないこともあるかもしれません。それでも、一番は楽しむことを大事にして、中学校生活を送っていきたいです。特に私は苦手な教科をしっかり克服できるように頑張りたいです。(N・A)

**高校生** ☆私は、高校生になったら今までよりもたくさんを知り学びたいです。また、将来のためにピアノを頑張り、新しい友だちを作って充実した毎日にしたいです。(M・S)

☆私が高校で頑張りたいことは、部活です。陸上部に入部しようと思っています。私の高校の部活は美術部、ダンス部、陸上部の3つの部活があり、私は体力がなく高校に行くだけでも最初はばててしまいそうなので、体力作りのために陸上部で励みたいです。また、授業で作業の時間があるので、今は何をやるのか具体的にはわかりませんが、私なりに頑張っておもひたいです。(Y・N)

**専門学校生** ☆私が専門学校で頑張りたいことは、しっかりと専門分野を学び、最終的に就職に結びつけることです。1年生のうちに基礎を身につけ、将来の夢を見つけたいと思っています。2年生になったら、その夢に向け就職活動をしていきたいです。一日一日を無駄にせず、大切に生活していきたいと思っています。(S・M)

☆ひよこぐみになったら、うたをたくさんうたいたいです。おともだちとおそとでたくさんあそびたいです。(H・A 年少)

MOGIカバン様よりランドセルの寄付がありました。ありがとうございました。

☆ももぐみになったら、はしることをがんばりたいです。ともだちといっぴいあそびたいです。(N・K 年中)



☆いちねんせいになったら、おべんきょうをがんばりたいです。ぷーるでおよぐのがとてもたのしみです。(A・T)

☆しょうがっこうにはいったら、きゅうしょくをのこさずがんばりたいです。うんどうかいがすごくたのしみです。(R・T)

☆しょうがっこうにいったらおべんきょうとさっかー、どっちぼーるをがんばりたいです。(K・O)

☆高校生活での目標は、勉強と部活動を頑張ることです。中学校より学習内容が発展していき難くなるので、計画的に勉強していきたいです。部活動では、運動部に入部し、練習に一生懸命参加したいと思います。新しい環境に対して不安もありますが、何事にも努力していきたいです。(R・U)

☆僕は、高校では将来就きたい仕事に必要な技術を学びたいと思い、美術を学べる高校を選びました。高校卒業後は進学も考えており、勉強とアルバイトを両立させ将来の夢に向かって有意義な高校生活を送れるよう頑張りたいと思います。(S・H)

☆私が高校に入学して頑張りたいことは勉強とアルバイトです。まだ将来の夢は決まっていますが、選択の幅が広がるようにしっかりと貯金したいと思います。充実した高校生活を送れるように頑張りたいです。(T・M)





## ピアノ発表会

ぜんぜんきんちょうしないで練習しているようにひけました。いつも石川先生がやさしく教えてくれるので楽しいです。がんばって練習して、また発表会に出たいです。

(K・O 小3年)



わたしは、はじめてピアノはっぴょう会にでました。

はじめはドキドキして上手にできるかしんばいだったけど、ほんばんはじょうずにひけました。みんなにほめられて、うれしかったです。これからもピアノのれんしゅうをがんばりたいです。2年生のはっぴょう会もたのしみです。

(J・O 小2年)

## 新 入 職 員 紹 介



寺本 咲良

これから子どもたちと毎日笑顔で健康に過ごせるよう精一杯頑張りたいと思います。



須藤 亜未

子どもたち一人ひとりと向き合い、精一杯支援に励んでいきたいと思っています。



櫻井 淳子

3年間「きのくに子どもの村学園」で、子どもの育ちを学び帰ってきました。

こころもからだも大きくなったみんなに会えて幸せです。

1年生になったつもりで頑張りますので、よろしく願いいたします。



一人ひとりの子どもと向き合い丁寧な関わりを持つことで、健康的な生活を送れるよう支援したいです。また、子どもたちと一緒に楽しく日々を過ごしていけるように笑顔を忘れずに頑張ります。



栗原 里奈

## 会員募集中

## 『イースターヴィレッジとともに歩む会』(後援会)

年会費 個人年会費 一口 3,000円

法人年会費 一口10,000円

(どちらも何口でも、また、この金額以外でも可能です。)

※なお、会員には広報誌「あゆむ会」をお贈りします。

詳細については、パンフレットを用意いたしましたので、お問い合わせ下さい。

※年度切り替えのため、4月から新年度になります。

引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

郵便振替口座：00100-3-555049

「イースターヴィレッジとともに歩む会」

※なお、振込にての領収書は郵便振替受領証に代えさせていただきます。

『イースターヴィレッジとともに歩む会』は、皆様方の善意をいただき、イースターで生活している、または卒業した子どもたちに物的・精神的援助を行っていくことを趣旨としている後援会です。この会の趣旨をよくご理解いただき、賛同して下さる方々を募集しています。



## 編集後記

新年度が始まり、子どもたちの新しい生活もスタートしています。様々な変化に戸惑いながらも、その変化を楽しみながら生活を送る姿は、成長と未来への期待感を感じさせてくれています。先日、ボランティアの方々が植えて下さったチューリップが盛大に花開きました。水をあげながら「何色かな?」「いつ咲くかな?」と心待ちにしていた子どもたち。「咲いたね。」「綺麗だね。」と喜び合う様子はとても微笑ましいものでした。日々の幸せを感じられる、そんな毎日を積み重ねていけたらと思います。

(みつ・しほ・たか・あすか・かおり・ゆうと)

☆ ご質問等ありましたら児童相談所及び栃木県こども政策課へ問い合わせもできます。